

## 静岡県CSF防疫対策本部第4回本部員会議 次第

日 時 令和2年1月9日（木） 15時10分から

場 所 別館9階特別第1会議室

### 議 題

- 1 CSF予防的ワクチン接種状況について
- 2 ワクチン接種農場の免疫付与状況確認検査について
- 3 養豚農場の一斉消毒の実施について
- 4 野生イノシシにおけるCSF陽性確認状況について
- 5 CSF経口ワクチンの散布状況と効果について
- 6 今後の対応について

# 1 CSF 予防的ワクチン接種状況について

- ・ 家畜伝染病予防法第6条に基づき、11月3日から11月18日までに、134戸、79,016頭へCSF ワクチンの初回接種を実施した。
- ・ 初回接種時に哺乳中の為、接種対象外であった子豚については、離乳後の11月25日から12月27日までに、90戸、16,414頭に対して接種した。
- ・ 高度な隔離・監視下にある豚として、ワクチン接種除外申請のあった種豚場等7戸は、農林水産省が確認作業中でワクチン未接種であったが、その内種豚場4戸については申請を取下げ、昨年中にワクチンを接種した。
- ・ 12月20日に国防疫指針（留意事項）が改正され、ワクチン除外対象は実験動物管理施設のみとされた。これを受け、除外申請中であった残り2戸の種豚場についても1月4日までにワクチンを接種し、本県でワクチン未接種の農家等は、実験動物管理施設の1戸、95頭のみとなった。

## 1 初回接種の実施状況（令和元年11月3日から11月18日まで）

地 域	対象戸数	接種頭数
東 部	47 戸	18,754 頭
中 部	23 戸	6,818 頭
西 部	64 戸	53,444 頭
合 計	134 戸	79,016 頭

## 2 離乳子豚への接種状況（令和元年11月25日から12月27日まで）

地 域	対象戸数	接種頭数
東 部	24 戸	3,698 頭
中 部	12 戸	1,315 頭
西 部	54 戸	11,401 頭
合 計	90 戸	16,414 頭

## 3 除外申請農場のワクチン接種状況（令和2年1月9日現在）

区 分	農場数	頭数	ワクチン接種
除外申請を取下げ	種豚場4戸	5,728頭	11、12月に接種済
指針の改正により対象外	種豚場2戸	2,188頭	12/31～1/4に接種済
除外申請確認作業中	実験動物施設1戸	95頭	未接種

- 参考：初回接種完了後に生まれた豚等への接種実施状況  
（令和元年12月4日～2年1月5日現在）

東部5戸513頭、中部2戸216頭、西部19戸2,784頭、計26戸3,513頭で実施。

## 2 ワクチン接種農場の免疫付与状況確認検査について

「豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、CSFワクチンの初回接種後、ワクチン接種農場の免疫付与状況を確認するため、12月3日から12月26日に抗体検査を実施した。

検査した豚の95%が抗体陽性であり、免疫付与されたことを確認した。

抗体陰性豚とその同腹豚（同じ母豚から生まれた豚）には、ワクチンの追加接種を実施した。

### 免疫付与状況確認検査結果及び追加接種状況

家畜保健 衛生所	免疫付与状況確認検査結果				追加接種状況	
	検査 戸数	検査 頭数	陽性頭数 (%)	陰性頭数 (%)	追加接種 戸数	追加接種 頭数
東 部	37 戸	969 頭	904 頭 (93%)	65 頭 (7%)	23 戸	1,159 頭
中 部	16 戸	350 頭	343 頭 (98%)	7 頭 (2%)	6 戸	10 頭
西 部	53 戸	1,740 頭	1,651 頭 (95%)	89 頭 (5%)	31 戸	578 頭
合 計	106 戸	3,059 頭	2,898 頭 (95%)	161 頭 (5%)	60 戸	1,747 頭

※ 展示・愛玩施設では免疫付与状況確認検査を実施していない。

#### ○ 免疫付与状況確認検査

- ・ ワクチン接種後、4週間以上経過した豚を検査対象とする。
- ・ 1農場あたり30頭以上（30頭に満たない場合は全頭）を無作為に抽出して採血し、血清のELISA検査で抗体の有無を確認する。

### 3 養豚農場の一斉消毒の実施について

---

家畜伝染病予防法第30条に基づき、緊急一斉消毒の実施を命じる旨を10月31日付け告示した。11月中に緊急消毒用の消石灰粉を豚飼養農場に配布し、11月29日までの間に全戸が消石灰散布による消毒を完了した。

#### 1 一斉消毒実施内容

(1) 実施の目的

県内における緊急的な豚コレラのまん延防止のため

(2) 実施する区域

県内全域の6頭以上の豚又はいのしし飼育施設（実験動物施設を除く。）

及びその他家畜保健衛生所長が必要と認める豚又はいのしし飼育施設

(3) 実施の期日

令和元年11月1日から令和元年11月29日まで

(4) 消毒方法

消石灰の飼育施設内（豚舎周囲及び衛生管理区域外縁部）散布

#### 2 豚飼養農場への緊急消毒用消石灰配布実績

地 域	対象戸数	配布数(20kg/袋)
東 部	43 戸	2,658 袋
中 部	16 戸	935 袋
西 部	53 戸	5,437 袋
合 計	112 戸	9,030 袋

## 4 野生イノシシにおける CSF 陽性確認状況について

### 1 野生イノシシにおける CSF 検査

#### (1) 死亡イノシシ

- 平成 30 年 9 月 14 日から、県全域で死亡イノシシの CSF 検査を実施

#### (2) 捕獲イノシシ

- 令和元年 7 月 28 日から県西部地域（浜松市、湖西市）で、9 月 27 日から県全域で、捕獲されたイノシシで CSF 検査を実施

#### (3) 検査実績

（令和 2 年 1 月 9 日現在）

区 分	検査数	陽性頭数
死亡イノシシ	108 頭	26 頭
捕獲イノシシ	679 頭	14 頭
計	787 頭	40 頭

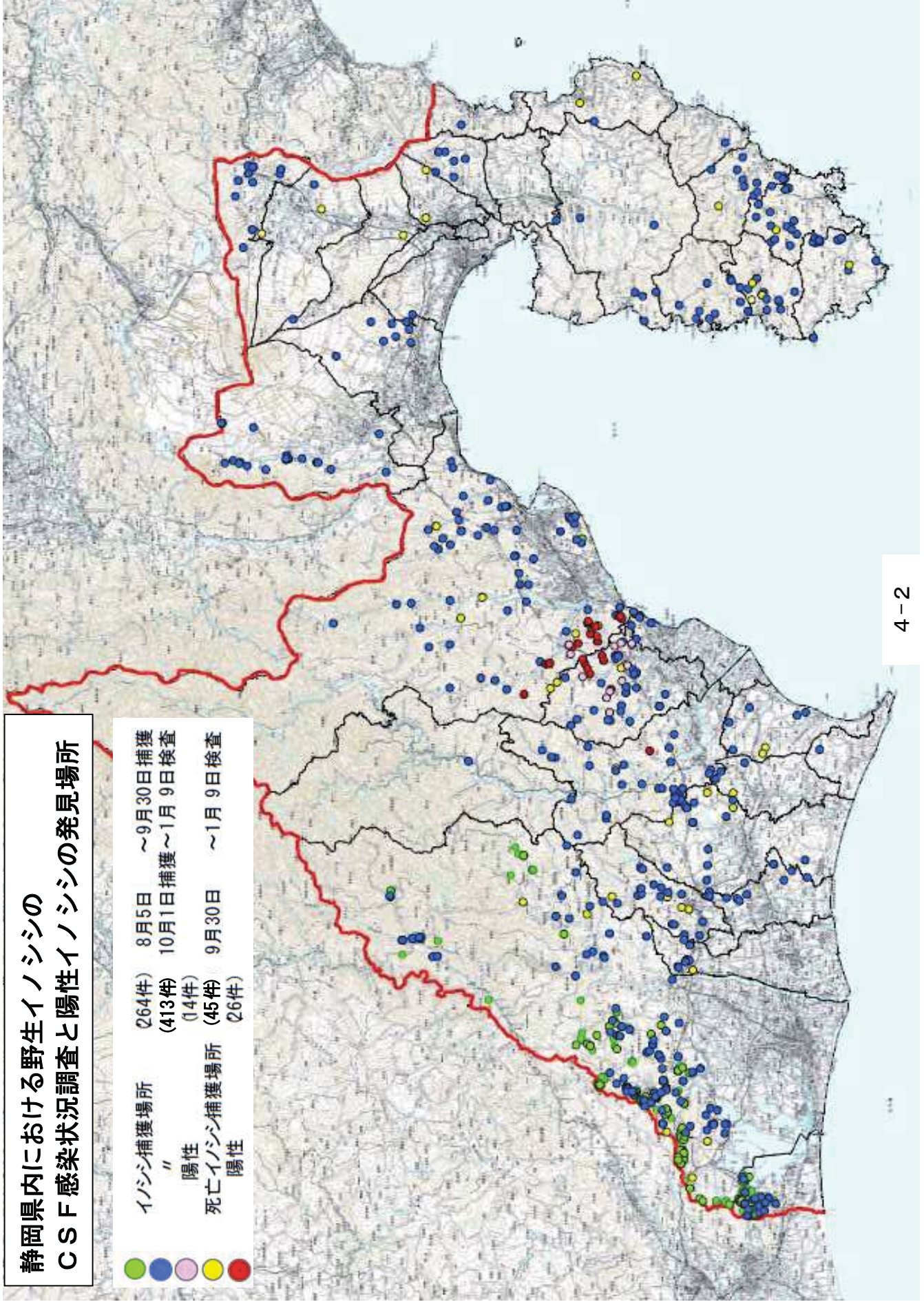
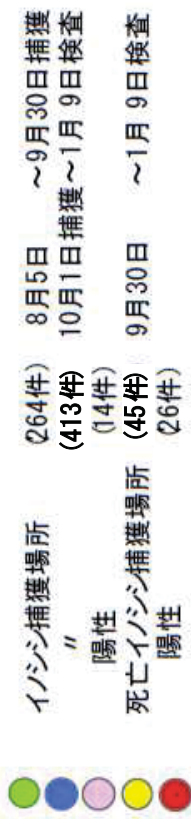
#### 【参考 陽性事例の概要】

No.	陽性 確定日	死亡 捕獲	発見・捕獲場所
1	10/18	死亡	藤枝市岡部町野田沢
2	10/26	死亡	藤枝市岡部町野田沢
3	10/28	死亡	藤枝市岡部町岡部
4	10/29	死亡	藤枝市岡部町殿
5	11/2	死亡	藤枝市北方
6	11/11	死亡	静岡市駿河区丸子
7	11/12	捕獲	藤枝市西方
8	11/13	死亡	静岡市葵区飯間
9	11/13	死亡	藤枝市岡部町桂島
10	11/14	捕獲	藤枝市北方
11	11/14	捕獲	藤枝市岡部町村良
12	11/19	捕獲	藤枝市西方
13	11/20	死亡	静岡市葵区飯間
14	11/26	死亡	静岡市駿河区宇津ノ谷
15	11/26	捕獲	静岡市葵区飯間
16	11/26	捕獲	藤枝市岡部町岡部
17	11/28	死亡	静岡市葵区富厚里
18	11/28	死亡	静岡市葵区富厚里
19	11/29	死亡	静岡市駿河区丸子
20	11/29	死亡	藤枝市岡部町桂島

No.	陽性 確定日	死亡 捕獲	発見・捕獲場所
21	12/10	捕獲	藤枝市本郷
22	12/12	死亡	藤枝市岡部町野田沢
23	12/16	死亡	静岡市葵区飯間
24	12/18	死亡	静岡市葵区富厚里
25	12/23	死亡	静岡市駿河区丸子
26	12/24	死亡	静岡市駿河区小坂
27	12/25	死亡	静岡市駿河区丸子
28	12/30	捕獲	藤枝市岡部町子持坂
29	12/30	死亡	島田市相賀
30	1/4	捕獲	藤枝市岡部町宮島
31	1/4	捕獲	藤枝市岡部町三輪
32	1/4	捕獲	藤枝市岡部町三輪
33	1/4	死亡	静岡市駿河区丸子
34	1/4	捕獲	藤枝市岡部町岡部
35	1/4	死亡	静岡市葵区久能尾
36	1/4	捕獲	静岡市葵区小瀬戸
37	1/8	死亡	静岡市駿河区小坂
38	1/8	死亡	静岡市駿河区小坂
39	1/9	捕獲	藤枝市岡部町三輪
40	1/9	死亡	静岡市駿河区丸子



静岡県内における野生イノシシの  
CSF感染状況調査と陽性イノシシの発見場所



## 5 C S F 経口ワクチンの散布状況と効果について

野生イノシシにC S F抗体付与のため、県内の西部、志太、中部、富士、東部地域でC S F経口ワクチン（以下、経口ワクチン）を散布している。

今後も、県内全域で経口ワクチン散布を継続する。

### 1 経口ワクチン散布結果と野生イノシシの抗体獲得状況

地域	経口ワクチン散布結果					抗体獲得状況*		
	散布日	散布箇所数	散布個数	摂食数	摂食率	捕獲頭数	抗体獲得頭数	抗体獲得率
西部	9月25,26日 10月16,18日	40カ所	684個	545個	80%	82頭	5頭	6%
中部	11月13,14日	25カ所	500個	218個	44%	17頭	0頭	0%
志太	11月20,21,29日	29ヶ所	510個	390個	76%	28頭	1頭	4%
富士	12月17,18日	21カ所	420個	243個	55%	12月27,28日に 捕獲開始 (現在捕獲期間中)		
東部	12月19日	7カ所	140個	115個	82%			
合計		122カ所	2,254個	1,511個	67%	—	—	—

\*：ワクチン散布地点から半径10km圏内の数値

### 2 実施主体

「静岡県C S F経口ワクチン対策協議会」

（県、市町、猟友会、畜産団体、J Aで構成する。）

### 3 今後の対応

- ・ 富士地域の富士宮市朝霧地区は、1月16日から散布予定である。
- ・ 1回目の経口ワクチンを9～10月に散布した西部地域および11月に散布した中部・志太地域は、1月15日～2月に2回目を散布予定である。

## 6 今後の対応

### 1 要 旨

本県では、飼養豚への予防的ワクチンの初回接種、免疫付与状況確認検査及び追加接種が終了した。

- ① ワクチン接種農場では、95%の高い免疫付与が確認されたところであり、今後もこの水準を維持していく必要がある。
- ② 中部地域における野生イノシシの CSF ウイルス陽性事例は 40 例まで増えており、依然として、養豚農場へのウイルス侵入リスクが残っている。

したがって、引き続き、養豚農場での CSF 発生防止及び野生イノシシの感染拡大防止に万全を期す必要がある。

### 2 今後の対策

項 目		内 容
養豚農場での CSF 発生防止	豚への予防的ワクチン接種の継続	毎月誕生する約 2 万頭の子豚に、生後 30～60 日齢でワクチンを接種していく。 (県の家畜防疫員と非常勤家畜防疫員が接種) ⇒ <u>高い免疫付与の維持</u>
	消毒の徹底の継続	養豚農場では、引き続き、農場や豚舎への出入りの際の消毒の徹底や野生イノシシの侵入防止対策を強化していく。 ⇒ <u>農場での CSF 発生防止</u>
野生イノシシでの感染拡大防止	野生イノシシの捕獲及び検査	環境中の CSF ウイルス濃度を低減させ、養豚農場へのウイルス侵入リスクを減らすため、県全域で野生イノシシの CSF ウイルスの浸潤状況を把握し、リスクの高い地域で重点的に捕獲強化などの対策を実施する。 ⇒ <u>農場での CSF 発生防止</u>
	経口ワクチンの散布	経口ワクチンによって、散布エリア内の野生イノシシの免疫獲得率を高めるためには、複数回にわたる散布が必要とされていることから、国の指針に基づき、冬期、春期、夏期の散布を継続する。 ⇒ <u>野生イノシシの免疫獲得推進</u>
風評被害対策		県産豚肉の魅力を広く PR する。



## C S F ワクチン接種推奨地域の追加について

### 1 要 旨

- ・ 豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針に基づくワクチン接種推奨地域（以下、推奨地域という。）について、12月20日、新たに8都府県\*が追加設定された。
- ・ これにより、ワクチン接種した豚等（と畜場出荷豚を除く子豚、種豚、精液等）の移動・流通可能範囲がこれまでの本県を含む12県から、合計20都府県に拡大することから、子豚・種豚農家の経営への影響が軽減されると見込まれる。

※8都府県＝茨城県、栃木県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、京都府及び奈良県

### 2 概 要

#### (1) 推奨地域追加設定の考え方

野生イノシシでの感染確認前に農場でC S Fが発生した事例等を受け、野生イノシシで感染が確認された地域に加え、感染拡大が想定される地域についても、先行して推奨地域を設定することとした。



#### (2) 本県への影響

ワクチン接種により、豚等の移動・流通はワクチン接種区域に限られているが、接種推奨地域の拡大に伴いワクチン接種区域が拡大すれば、販路が拡大し、経営への影響が軽減されると見込まれる。

#### <ワクチン接種の移動制限に伴う販売減少見込み>

豚等	12県設定時		20都府県設定時	
	販売減少数	販売減少額	販売減少数	販売減少額
子豚	11,217 頭	207,515 千円	304 頭	5,624 千円
種豚	2,829 頭	233,890 千円	1,757 頭	145,100 千円
精液	89,194 本	202,916 千円	56,496 本	128,528 千円
計	—	644,321 千円	—	279,252 千円